

富士通エフ・アイ・ピー
会社案内



Challenge & Sustainability

富士通エフ・アイ・ピー株式会社
<http://www.fujitsu.com/jp/fip/>



このカタログは森林保全につながるFSC®(Forest Stewardship Council®)「森林認証紙」を使用しています。また、印刷には環境に配慮した植物油インキを使用しています。



本会社案内に記載の内容は2019年1月現在のものです。内容は予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。



トップメッセージ

お客様のビジネス拡大を支える 「デジタル革新のベストパートナー」へ

今日、AI、IoT、ブロックチェーンなどのデジタル技術が飛躍的に進歩し、大きな変革の時代が到来しています。最新のICT技術の活用が、これまでにないビジネスの仕組みを可能にし、より便利で快適な社会が実現しつつあります。

富士通エフ・アイ・ピーは、全国に展開する富士通のデータセンターの運用を支えるとともに、このデータセンターをベースとしてサービスビジネスを展開してまいりました。お客様の課題やニーズを読み取り、これまで培ってきた専門性の高い業種・業務ノウハウと、最新技術やソフトウェア技術などを活用し、システムの構築から運用、さらには業務の運用にまで踏み込んだ最適なサービスを提供しています。

また、クラウドファーストの時代となりデータセンターの役割が変化する中で、基盤としてクラウドを提供するほか、業種に特化した様々なアプリケーションをサービスとして提供し、お客様のビジネスの利便性向上を図っています。さらに、昨今ではデータセンターにお預かりしているお客様のデータを分析し、価値あるデータとして活用することで、お客様のビジネス拡大に貢献する取り組みも進めています。

今後は、最新のデジタル技術も活用した「お客様との共創」をより一層深め、新たなビジネスの創出を支援し、お客様のビジネス拡大を支える「デジタル革新のベストパートナー」として日々邁進してまいります。



代表取締役社長

島津 めぐみ

これまでの歩み

わが国初の電算センターを継承してスタートした当社は、受託計算、ソフトウェア開発などから、システムインテグレーション、ITアウトソーシング、クラウドへと事業を拡大。最新技術も活用し、お客様のビジネス拡大を支えています。

1963 ○ ファコム株式会社設立

前身の有隣電機精機(株)が運営していたわが国初の電算センターを継承し、富士通(株)のコンピュータを扱う専門企業として産声をあげる。



1966 ○ 富士通ファコム株式会社へ改称

1972 ○ 商用TSS*サービスの提供開始
※多数の端末機が1台のホストコンピュータを同時に利用する計算処理システム

1977 ● 富士通株式会社の全額出資により株式会社エフ・アイ・ピー*設立
※「エフ・アイ・ピー」は、FACOM INFORMATION PROCESSINGに由来する



1980 ● 現社名の富士通エフ・アイ・ピー株式会社へ改称

1982 ● VAN*サービスの提供開始
※Value Added Network：通信内容をそのまま伝送するのではなく、通信内容に処理加工を行って伝送する通信網のこと



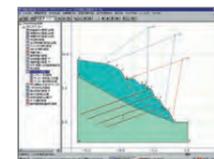
1988 ● システムインテグレーション事業への進出



1989 ● アウトソーシングサービスの開始
川崎市に第1号のデータセンターとなる東京第一センター(第一ビル)を開設し、日本で草分けとなるITアウトソーシングサービスを開始。その後、全国主要都市16か所にデータセンターを展開。



1994 ● 土木設計計算システム「FCENA」シリーズ(斜面安定計算システム「COSTANA」)の販売開始



1996 ● 医薬品安全性情報管理システム「パーシヴ」シリーズの販売開始



1998 ● インターネットによる企業間EC/EDIサービス「TradeFront」を提供開始



1999 ● 環境パフォーマンスデータ記録管理システム「SLIMOFFICE」(現SaaS型環境経営情報サービス「Eco Track」)の販売開始

2000 ● ビジネスオペレーションセンター開設



● 廃棄物情報管理システム「CLENALIFE」シリーズの販売開始

2001 ● 医薬品製造販売後調査データ収集システム「PostMaNet」の販売開始

2005 ● 上下水道料金管理システム「AQUASTAFF」の販売開始

2006 ● ギフトカードASPサービスの提供開始

2010 ● クラウドサービス「オンデマンド仮想環境ホスティング」の提供開始

● 横浜データセンター開設
クラウド化の進展の中、最新の省エネ設備と高度なセキュリティ設備を備えた国内16拠点目となるデータセンターを開設。

2011 ● 「クラウドバックアップサービス」の提供開始

2012 ● 暗号化ファイル伝送ツール「Confidential Posting」の提供開始



2015 ● データセンターサービス事業の強化を目指し、富士通株式会社と組織統合・再編
当社と富士通(株)がそれぞれ展開していたデータセンター事業を統合。これを機に、データセンター運用などのサービス機能を一手に担い、富士通グループでサービスビジネスを牽引する役割が一層鮮明に。

2016 ● ID-POS分析サービス「ValueFront Analytics」の提供開始

2017 ● 創立40周年

1960

1970

1980

1990

2000

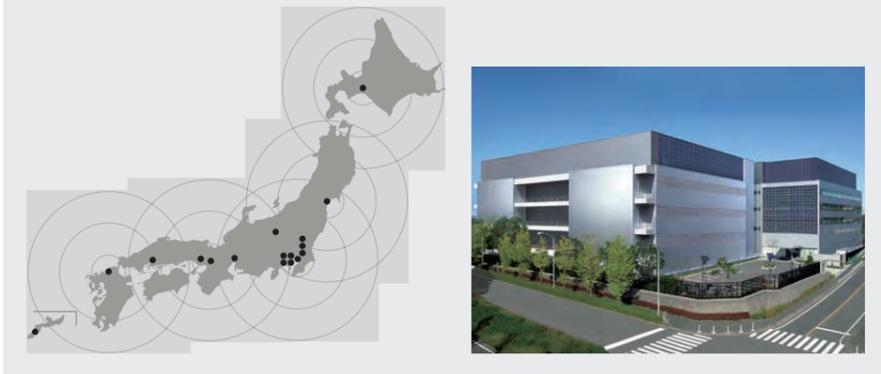
2010

ビジネス体系

全国に展開する富士通のデータセンターをベースに、システムのライフサイクル全般をサポート。デジタルビジネスを実現する「場」を提供し、お客様のデジタル革新を支援します。

当社は、北海道から九州まで全国に展開されている安全性の高い富士通のデータセンターにおいて、お客様の大切なデータをしっかりと守り運用しています。システムの企画から設計、開発、運用、保守まで、ライフサイクル全般を支援し、「ITアウトソーシング&クラウド」、「システムインテグレーション」、「プロフェッショナル」、「SaaS」の4つのサービスにおいて、お客様に安心・安全で、高品質かつ高コストパフォーマンスのサービスを提供しています。これらのサービスを通じて、デジタルビジネスを実現する「場」を提供し、お客様のデジタル革新を支援していきます。

富士通のデータセンターは、各種安全対策基準や独自の強化基準をクリアすることにより、ハイレベルなセキュリティ環境を実現しています。お客様のシステムをあらゆる脅威から、24時間365日体制でお守りし、企業経営や社会生活を支援しています。



ITアウトソーシング&クラウドサービス

24時間365日安定した運用をサポート。データセンターとクラウドの連携で最適な環境を実現。

全国に展開する高水準の安全対策・セキュリティ対策を施した富士通のデータセンターと、ITIL®に準拠した最新のサービスマネジメントをベースに、最高の技術と万全の体制でお客様システムをお預かりし、24時間365日安定した運用を提供しています。さらに、ネットワークで提供されたデータセンターの各種サービスと、当社が提供する様々なクラウドサービスをハイブリッドに組み合わせ、お客様の幅広いご要望にお応えし、最適なクラウド環境を提供します。

システムインテグレーションサービス

豊富なノウハウと最新の開発技術を組み合わせ、お客様の視点に立ちソリューションを提供。

豊富な業種・業務ノウハウと、最先端のICTをはじめとする高度な開発技術を持ったシステムエンジニアが、常にお客様の視点に立ち、お客様と一体となったシステム構築を行っています。官庁・自治体をはじめ製薬、ヘルスケア、流通など、幅広い分野のお客様にソリューションを提供し、人々の安心・快適で豊かな暮らしを支えています。

プロフェッショナルサービス

お客様業務を熟知した技術者の高品質な運用サービスで、デジタル革新をトータルサポート。

ITアウトソーシング&クラウドサービスとシステムインテグレーションサービスをベースに、お客様の業種・業務に精通したプロフェッショナルサービスマネージャーを中心とした専門のチームが、お客様のビジネスの成果を実現すべく、デジタル革新をサポートします。お客様の業務のコアパートナーとして、最新技術を活用し、上位工程から運用まで一貫して、高品質なサービスを提供します。

SaaSサービス

様々な分野のサービスを提供し、お客様ビジネスの利便性向上を支援。

当社が長年培ってきた、アウトソーシングやソリューションなどのノウハウを融合して、様々なサービスを開発し、万全な導入、運用サポートのもと、お客様にネットワーク経由で提供しています。お客様が求める幅広いニーズにお応えし、流通、製薬、ヘルスケア、官庁・自治体、セキュリティなどの様々な分野の業務において、利便性向上やお客様のビジネスの拡大を支援しています。

データセンター

社会を支えるソリューション

富士通エフ・アイ・ピーのソリューションは、人々の安心・快適・豊かな暮らしを支えるため、様々なシーンで活躍しています。



環境

届出事業者管理やごみ収集管理などの自治体の環境行政と、環境データの収集・管理などの企業の環境経営を支援し、環境負荷軽減に貢献します。



製薬

医薬品の安全性情報の管理や製造販売後調査の進捗管理やデータ収集を支援し、安心・安全な医療の実現に貢献します。



石油

石油元売会社の基幹システムや、サービスステーション向けリテールシステム・コールセンターを提供し、社会インフラ基盤を支えています。



ヘルスケア

医療事務の効率化やカルテの電子化、地域医療の推進などを通じて病院経営を支え、医療の質の向上に貢献します。



自治体

ICT基盤のクラウド型共同利用や福祉・水道をはじめとした各種業務の効率化などを通じ、地域社会の発展や市民サービスの向上に貢献します。



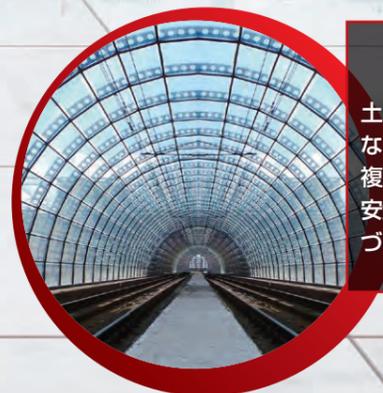
金融

システムの基盤から、基幹系・決済系などの各種システムの構築・運用を通じ、システムの信頼性向上と業務運用の負担軽減を支援します。



セキュリティ

各種認証取得や準拠支援、内外脅威への対策、ファイルの暗号化や伝送による情報流出対策など、セキュアなシステム環境を支援します。



土木・建築

土木構造物や木造建築物などに求められる高度で複雑な設計計算を支援し、安全で快適な社会インフラづくりに貢献します。



百貨店・卸・小売

流通BMSなどによる受発注効率化や、電子マネーやポイントサービスによる利便性向上、マーケティング支援により、売上拡大に貢献しています。



サービス & ソリューション
トップページ

<http://www.fujitsu.com/jp/group/fip/offering/>

CSR活動

お客様に安心して製品・サービスをご利用いただくため、そして、社会の持続的な発展のため、様々な活動に取り組んでいます。

品質強化活動

日本初「プレミアム・ステージ」証明書

アプリケーションの開発・保守と全国のデータセンターにおけるアウトソーシングサービス全般について、一般財団法人日本品質保証機構(JQA)が提供する「マネジメントシステム統合プログラム」の最高レベルである「プレミアム・ステージ」の証明書を日本で初めて取得しました。



「プレミアム・ステージ」証明書

情報セキュリティ対策

安全なサービスの提供とサイバー攻撃対策

お客様に安全なサービスを提供するため、定期セキュリティ検証制度を設け、当社製品・サービスの定期点検を実施しています。また、急増するサイバー攻撃に備え、実際の攻撃事例に基づいた教育や訓練、啓発活動を全社に対し行っています。



セキュリティ推進会議

ワークスタイル変革

全社一丸となった改革への取り組み

2017年3月に「富士通エフ・アイ・ピー ワークスタイル変革宣言」を発表し、経営トップのリードのもと、専任組織およびワーキンググループを設けて、全社一丸となってワークスタイル変革に取り組んでいます。また、テレワーク勤務制度を導入し、社員のライフスタイルに合わせた柔軟な働き方を推進しています。



「富士通エフ・アイ・ピー ワークスタイル変革宣言」宣言文

ダイバーシティ推進

障がい者雇用、女性活躍推進

共同農園の一区画を借り受けて農園就労を行うなど、障がい者雇用に積極的に取り組んでいます。また、女性社員の一層の活躍に向け、役員と女性社員との座談会や女性社員同士の意見交換会などを実施しており、2016年3月には、優良な子育てサポート企業として厚生労働大臣より「プラチナくるみん」認定を受けました。



役員と女性社員との座談会

事業継続活動

BCP対策訓練

不測の事態発生時においても重要な事業を継続し、社会的責任を遂行するとともに、高性能・高品質な製品・サービスの安定的供給を実現するため、事業継続計画(BCP)の継続的な見直しと改善を行っています。



対策本部訓練

社会貢献活動

地域ボランティア

全国各地の従業員が、事業所周辺、公園、河川などにおいて清掃や美化などのボランティア活動に積極的に参加し、地域の方々とともに社会貢献を推進しています。



清掃ボランティア

環境問題への取り組み

森林再生支援

2010年7月より神奈川県森林再生パートナーとなり、丹沢大山地区の約9ヘクタールを「富士通エフ・アイ・ピーの森」と命名しました。春と秋の年2回、社員による間伐などのボランティア活動を継続的に行い、森林再生を支援しています。



富士通エフ・アイ・ピーの森 ボランティア活動

富士通は東京2020オリンピック・パラリンピックを応援しています。

富士通は国内最高水準のゴールドパートナー(データセンター)として、オリンピック・ムーブメント、パラリンピック・ムーブメント促進に貢献し、データセンターに必要なサーバ、ストレージやサービスを通じて、東京2020大会をサポートしていきます。



東京2020ゴールドパートナー(データセンター)

富士通エフ・アイ・ピーは
富士通のグループ企業です